

# 「出前科学スクール」「子ども科学スタジオ・オープンスクール」実施要項

## 1. 目的

- ①子どもたちに、科学実験やものづくりを通して、科学への興味・関心を持たせ、自然の不思議さや科学することの楽しさなどの心情を育てる。
- ②先生方や保護者の要望に応じ、科学実験の方法などについて指導を行う。

## 2. 実施形態

### A：出前科学スクール（以下、A）

貴所へ当財団の指導員を派遣し、子どもたちに向けた実験教室を行います。

### B：子ども科学スタジオ・オープンスクール（以下、B）

金沢市長土堀青少年交流センター1階交流活動室へお越しいただき、当財団の指導員が実験教室を行います。

※A・Bどちらも1団体に付き3回までが目安です。

## 3. 対象者

金沢市内の幼稚園や保育園、こども園の年長児、小学生及び先生・保護者

※A・Bともに1回の定員は子ども35名以下です。多い場合は事前にご相談ください。

## 4. 活動内容

- ・科学の実験や身の回りのものを利用して工作などを行います。
- ・活動内容は、対象者の年齢に応じて実施していますので、あらかじめご相談ください。
- ・当財団が主に提供できる活動内容を9つラインアップしました。併せて簡単な実験や工作の流れ、あるいは配慮してほしいことなども記載しました。その他にもやってみたい実験や活動、工作があればご相談ください。
- ・Bのように当財団に来られてスクールを行うと内容がより充実します。事前にご相談ください。



ポンポンホバーで遊ぼう  
「スイスイ、すごい走るよ」



ミニ水族館づくり  
「赤いさかなをかいたよ」



スライムづくり  
「うわー、ぬるぬる！」

## 5. 活動場所

A：金沢市内のこども園等のホールや小学校の教室や理科室、体育館、運動場など

※参加者の人数や活動内容を考慮した場所をお願いしております。

※実験の内容によっては電気や水道などが必要になります。

B：金沢市長土堀青少年交流センター1階 交流活動室

## 6. 指導者

原則として、金沢子ども科学財団の指導員が担当します。

## 7. 実施日・時間

- ・実施期間 2025年4月最終週から2026年2月末まで
- ・実施日 火・水・木・金曜日  
※土曜日は当財団主催の事業のため受付できません。また、日・月曜日は財団の定休日です。
- ・時間 活動内容にもよりますが、概ね45分～1時間程です。

## 8. 料 金

- ・基本料金 1件 3,000円（派遣費用や消耗品代などを含みます）  
※1回の参加者の人数が35名を超える場合は、追加料金が発生します。事前にご相談ください。

## 9. その他

- ・出前科学スクール中の参加者の傷害保険や会場費等は、主催者にてご負担ください。
- ・参加者の招集や進行、保安安全等は主催者側にて十分ご配慮ください。
- ・活動用の機材等を持ち込みますので、30分程前に伺い会場で準備します。駐車場1台分の確保をお願いします。

## ★申し込み方法

### <手順>

- ①事前に希望日時等について、担当までお電話（221-2061）にてご相談ください。私どもとスケジュール等を打ち合わせて日程調整をします。
- ②その際、申込用のサイトに入るためのパスワードや申込手順をお伝えします。
- ③その後、財団ホームページの下記のURLよりお申し込みいただきます。手順に沿って必要事項を入力してください。

申込手順用URL

<https://kodomokagaku.or.jp/event/dem25/>



- ④申込受付期間は、2025年4月5日（土）から2026年1月28日（水）までです。複数回実施する場合は、ご面倒でも回毎に入力していただきます。

【お問合せ・申込先】 （公財）金沢子ども科学財団  
出前科学スクール・子ども科学スタジオ・オープンスクール担当  
〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号  
金沢市長土堀青少年交流センター内  
TEL 221-2061 FAX 221-2062  
E-mail:kodomokagaku-oubo@kanazawa-city.ed.jp  
※定休日：日・月曜日

## ★主な活動内容

### ①ミニ水族館づくり

身のまわりにあるものが浮くのか沈むのか調べます。浮力の原理を利用して、ペットボトルの中で魚の形のタレビンが浮いたり沈んだりします。ペットボトルに魚やコンブの絵を描けば自分だけのミニ水族館ができ上がります。おみやげになるので、家庭でも楽しむことができます。

水を使うので、暖かい時期が良いかもしれません。材料のペットボトルはこちらで準備します。油性マジックで絵を描きますが熱中するようです。



### ②空気で遊ぼう

空気の性質を調べます。見えない空気を捕まえたり見えるようにしたりします。さらに、空気は力持ちであることから、小さな空気砲をペットボトルで作り、鬼の的に鬼退治して遊びます。最後に、スモークマシンを使って大型の空気砲の発射実験も演示します。ミニ空気砲と鬼の的がおみやげになります。

広いプレイルームを無風にしての実施が最適です。ミニ空気砲に適したペットボトルはこちらで準備する予定です。



### ③ビンビン笛づくり

紙コップとひも、竹の割りばしなどを使って、ぐるぐる回すとこすれておもしろい音が出るおもちゃを作って遊びます。でき上がったらみんなで元気に回してみましょ。作った笛はおみやげになります。

ひものついた紙コップをぐるぐる回すので、広いスペースが必要です。また、工作はやや手が込んでいます。サポートの必要から25人以下がいいかもしれません。



#### ④スライムづくり

洗たくノリと水を混ぜて魔法の液をたらすと、とろとろでねばねばした不思議な「スライム」ができます。二人ペアで協力して液を量りとりたりまぜたりと、子どもたちには科学者になった気分で実験できます。色の液を数滴たらすとカラフルなスライムになります。もちろんスライムはチャック袋に入れて持ち帰ることができます。

濡れた手ふきが机に一つ必要です。Bのオープンスタジオで実施する場合は、さらにおもしろいスライムも提供できます。



#### ⑤コマで遊ぼう

いろいろなコマを回して遊びましょう。変わった形のコマもありますが、コツをつかむとうまく回せるようになります。また、CDを使った高速コマに不思議な模様を型紙を切って装着し、回してみましょ。さらに、牛乳パックを使ったコマも作りましょ。ご家庭でも簡単に作れます。材料はすべて準備します。2種類のコマがおみやげになります。



コマは床で回す方がよいでしょう。ホールなどの広いスペースで回すと楽しいです。いろいろな種類のコマ遊びセットを準備しますので、3～4人のグループになってもらいます。



#### ⑥磁石で遊ぼう

磁石がどんなものにくっつくか身のまわりにある材料で試してみます。また、磁石を使っていくつかの遊びのミッションに挑戦してもらいます。できるかな？ そして、二つの丸い磁石で口をパクパクさせながら鉄だけにくっつくワニさん（カバさん）のおもちゃを作ります。おもちゃがおみやげになります。最後に、お部屋の中のどんなものにくっつくか、みんなで試して遊びます。

いろいろな素材の材料セットを準備しますので、3～4人のグループになってもらいます。工作は一人でも可能です。



### ⑦ポンポンホバーで遊ぼう

発泡スチロールボードとビニール袋を使って、浮上式のボート（ホバークラフト）を作ります。浮かせるためにポンポンとホバーで床をたたくと、つるつるの床をスーッと滑ります。ホバーがおみやげになります。

ホールのような広くてすべすべの床で遊びます。30人以下の少人数に向いています。



### ⑧化石レプリカづくり

本物の化石からとった型を使って石こうのレプリカを作ります。石こうのこなと水をよく混ぜると少しずつ固まります。裏側にそっと磁石を入れて20～30分待つと固まり、型から取り出せばでき上がります。化石レプリカはおみやげになります。また、固まるまでの時間に本物の化石を見たりそっとさわったりしてみましょ。すごい恐竜のお話もします。

べとべとした石こうが手につく場合があるので、濡れた手拭きが机に一つあったら良いでしょう。20人以下の少人数に向いています。



### ⑨カサ袋ロケットづくり

ビニールのカサ袋を使って細長いロケットを作ります。どうしたら遠くまで飛ばせるか、エンジニアになった気分を実験してもらいます。ビニール袋やカサ袋を投げたみたりおもりや尾翼をつけたりして工夫をします。バランスと投げ方次第でよく飛びます。カサ袋ロケットはおみやげになりますが、あまり長持ちしません。ご家庭でも簡単に作れてよく飛びます。

ホールなどの広いスペースが必要です。25人以下の少人数に向いています。

